

令和8年 第1回

交野市文化財審査委員会 会議録

交野市

1. 開 会 令和8年3月30日(月) 午後2時

※私部城跡現地見学を午後1時30分から55分まで実施

2. 閉 会 令和8年3月30日(月) 午後3時

3. 出席委員 中井 均 会長・村田 路人 副会長・礪波 恵昭 委員・橋寺 知子 委員・若林 邦彦 委員

4. 事務局 真鍋 成史 文化観光課長・絹川 誠 文化観光課長代理・吉田 知史 文化観光課係長

5. 案件事項

1. 市指定史跡私部城跡の保存活用について

2. 鍋塚古墳の調査について

3. その他

6. 議事内容

- 【会長】 定刻となりましたので、これから交野市文化財審査委員会を開催します。本日は年度末の大変お忙しい中出席いただき大変ありがとうございます。早速ではですが主に沿って議事進行させたいと思います。それでは本日の出席状況の報告を願います。
- 【事務局】 委員 5名のうち 5名の出席となっており、半数を超えておりますので、交野市文化財保護条例施行規則第二十条の第二項より会議が成立していることを報告させていただきます。なおこの会議の内容につきましては、議事録作成のため録音させていただきますので、皆様これをお願いいたします。また、本日の会議ですが、「交野市の会議の公開に関する指針」に基づいて公開としたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。
- 【各委員】 異議なし
- 【会長】 ありがとうございます。では異議なしということで公開したいと思います。事務局、傍聴者いますか。
- 【事務局】 はい、本日は 5名の希望者おられますので、準備いたしますのでしばらくお待ちください。
- 【会長】 それでは、開催にあたり、本日の会議の趣旨を課長から説明願います。
- 【課長】 趣旨の説明
- 【会長】 それでは案件の一つ目「交野市指定文化財私部城の保存活用について」事務局から説明願います。
- 【事務局】 資料の説明
- 【会長】 はい、ありがとうございます。委員の皆さん、ご質問ご意見ございましたらよろしく願います。
- 【委員】 緊急自然災害防止対策事業債を活用して整備されるということですが、文化財史跡として保存するということと、災害防止公園として整備するということが抵触することはないでしょうか。
- 【事務局】 ありがとうございます。緊急自然災害防止対策事業債ですが、簡単に言えば7割を国が負担する、交付税によって7割が市の方に補填されるという制度です。あくま

で災害対策という名目はございます。なおかつ緊急性が求められるという制約もある中で、あくまで今回の計画につきましては、名目上は災害ということを前面に押し出していますが、市としては、付近一帯を防災面プラス歴史的な保存という両方の面で保存してきたいと思っております。なおかつ当該私部エリアにつきましては、避難場所が少ないエリアですので、ここに防災エリアかつ公園であり、なおかつ史跡という要素が入っているエリアを整理することによって、有利な起債を使いながら活用できると考えております。防災という位置づけがございますので、防災に全く関係のないあるいは公園整備に全く関係のないものの整備は難しいこと、そして緊自債がその名前のとおり緊急性かつ災害防止という視点が求められるというところは一定制約となります。

【会長】 今のご質問と、重なるのだけれども、整備のための青焼きみたいなものなの必要になってくるということでしょうか。

【事務局】 はい、そうです。今、担当課として危機管理室が今この緊自債の担当をしており、発掘調査であるとか、芝生化であるとか、東屋ベンチにつきましては、緊自債の対応になるというように回答をもらっています。

【委員】 資料の2ページ目にあります中井先生の縄張り図をご覧ください。先ほど現地を確認しました。本郭の北側を国の緊急自然災害事業債を活用して、私部城の保存に踏み出したこと大変有意義なことと思います。しかし、この図に示された3郭、そして道に分断されています2郭の北側も保存すべきではないのでしょうか。このような平城は大阪府下ではありません。そのあたりも含めて国史跡化を目指すべきではないのでしょうか。

【事務局】 今ご指摘ありましたが、3郭の宅地化が進み、2郭との間の堀も埋まってしまったということで、国史跡化が頓挫した経緯があります。当時は市としても3郭部分まで拡大することは想定することはできませんでした。しかし、その時はずは、以前、大阪府から今回買収した土地があれば府史跡化は検討できると回答いただいております。今回買い取りました8筆で府史跡を目指したいと市としては考えております。

【会長】 今事務局から回答のありましたようにまずは大阪府と協議して、府指定という形で進めていただけるのが一番良いかなと思います。先ほど現地を確認しましたが、3郭とその間は壊されているという状態ではなくて、埋まっている状態です。2郭の北側も道路で切断されていますが、残っています。このあたりを買収とか、そのあたりも視野に入れていただければと思います。土地の取得を進めていただければ、これは府指定の次にあの私は国指定を目指していけるのではないかというのは思っています。市指定が府指定になって、そしてもう一度あの国指定を再度目指していただければと

思います。

【事務局】 ありがとうございます。今の委員の皆さんからのご意見を市の方でも伝えていきたいと思えます。貴重なご意見として、この議事録の方に記録させていただいて、検討を進めていきたいと思えますのでよろしくお願ひします。

【会長】 もう一つだけ、私部城は歴史的にも重要で、近年文献史の研究によって私部城の城主である安見氏が歴史的に重要だということもわかってきました。ただ跡が残っているというだけでは駄目で、その城跡の歴史的な状況ってというのはすごく大事だと思っています。さらに大阪府でこれだけ平城が残っているっていうのは他にはないということです。羽曳野市の高屋城は昭和23年の米軍の航空写真では見事に残っているのですが、今もう一切ないわけです。全部住宅になっちゃった。そういう意味では、現地にこれほど残るということは重要で、まずは大阪府の指定とし、その先に国指定を目指すということでお願ひします。

【委員】 まず府指定を目指すという話をしている時に国指定の話になってしまひますが、最近、国史跡化にあたって関連する遺跡をまとめて遺跡群として価値づけすることが増えています。文化庁の方とお話していても遺跡群として捉える考え方に注目されていることがわかりますので、今後国史跡化に向けた協議がある際に提案してみてもどうでしょうか。

【事務局】 北河内にはすでに国史跡化された飯盛城跡があります。令和8年度に会長にお越しいただいて私部城に関するシンポジウムを行う予定です。飯盛城の調査担当者にも加わってもらひ予定ですので、その際、遺跡群として捉えるという考え方についても議論したいと思えます。

【会長】 よろしいでしょうか。いままでの議事録に載せていただければと思えますし、国史跡を目指す範囲についても、またぜひ今日の委員会での意見反映していただいて、進めていただくということで、委員の皆様いかがでしょうか。

【各委員】 異議なし。

【会長】 はい。ではすみません。事務局にそのようによろしくお願ひいたします。続きまして2件目の案件、鍋塚古墳の調査について説明の方をお願ひいたします。

【事務局】 資料の説明。

【会長】 いま鍋塚古墳の説明が終わりました。ご質問ご意見はございますか。

- 【委員】 測量はどのようにされたのでしょうか。
- 【事務局】 トータルステーションという機材を使って、等高線をとっていく作業をしています。大学の測量技術を学ぶための実習という意味合いもありますので、最新の 3 次元測量とかの手法は使わずに、手ばかりで測るという基礎的な測量方法をとっております
- 【委員】 基礎的な測量方法を学ぶということは好感がもてますし、等高線の本数も多く回されていて良いと思いました。
- 【委員長】 それでは私から。古墳群自体は昭和に小学生により発見されたということでしたが、鍋塚や雷塚といった名称は古い時代のもののように思います。これはどのようにつけたのですか。
- 【事務局】 小字からとっています。森古墳群には、江戸時代の史料などにこうした古墳の存在を示す地名があり、地元の方は古墳の存在を認識されていたと考えられています。大正時代には古墳の盗掘事件もありました。それが昭和時代に一度忘れられていたところに小学生の発見により改めて注目を浴びたという経緯です。
- 【会長】 有難うございます。ほかにはありませんか。ないようですのでその他の説明をお願いします。
- 【事務局】 無量光寺庫裏の調査に関する説明。
- 【委員】 無量光寺の建造物に今出川家との関連が認められるということでしたが、今後の調査や保存方針はあるのでしょうか。
- 【事務局】 現在、同志社大学で公家文化の研究をされている浜中邦弘教授にご協力いただき、関西大学で公家住宅の研究をされている藤田勝也教授にも指導を得て今年度から検討していきたいところです。また次回以降の審査委員会で調査結果をお示ししたいと思います。無量光寺の古文書については村田先生に指導いただいているところでこの中にも今出川家との関連を示すものがないか確認しているところです。また今出川家の家紋を示した瓦が庫裏や蔵などに認められます。また蔵におさめられていた興などの美術工芸品もありまして、建物に限らず総合調査の必要性を感じております。
- 【会長】 わかりました。それでは本日の案件についてはこれで終わりたいと思いますが、最後に何かご意見ありませんか。

【委員】 意見なし。

【会長】 本日はお疲れさまでした。